

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号)	令和3年度すみだ健康づくり総合計画中間改定検討部会 第2回「地域共生・包括ケア部会」		
開催日時	令和3年7月14日(水) 午後1時半～3時			
開催場所	墨田区役所12階 121会議室			
出席者数 (14人)	<p>【外部委員】 公益社団法人 墨田区医師会 副会長 山室 学 社会福祉法人 墨田区社会福祉協議会 地域福祉活動担当 主任 小古山 知世 一般社団法人 東京都本所歯科医師会 副会長 松田 浩 一般社団法人 墨田区薬剤師会副会長 勝野 純子 向島保健衛生協力員会会長 栗林 秀介 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 講師 渋谷 克彦</p> <p>【庁内委員】 保健計画課長 杉崎 和洋 保健計画課保健計画担当主査 高橋 久美子 障害者福祉課障害者相談係主査 阿部 作哉 介護保険課管理・計画担当主査 中山 裕子 高齢者福祉課地域支援係主査 會田 光穂 向島保健センター保健指導係 一瀬 善子 地域活動推進課地域活動推進担当主査 松木 孝夫 経営支援課経営支援担当主査 小林 弘明</p> <p>【欠席者】 一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会会長 椎名 美恵子 すみだ食育 good ネット副理事長 青島 節子 保健予防課長 武田 知子 保健予防課精神保健係長 中尾 清美</p> <p>【事務局】 保健計画課健康推進担当 松本・小林 株式会社ルネサンス、株式会社クレメンティア</p>			
	公開(傍聴できる) 部分公開(部分傍聴できる)		傍聴者数	なし
	非公開(傍聴できない)			
議 題	1 開会 2 保健計画課長 挨拶 3 議事 (1) 前回の振り返りと施策体系等の変更点 (2) 基本目標 の施策と事業について (3) 事業と指標の関連について (4) その他 4 閉会			

配 布 資 料	<p>1 すみだ健康づくり総合計画中間改定検討部会「地域共生・包括ケア部会」委員名簿</p> <p>2 第1回「地域共生・包括ケア部会」議事録</p> <p>3 第1回「地域共生・包括ケア部会」ご意見・ご質問シートまとめ</p> <p>4 すみだ健康づくり総合計画 施策の体系【修正版】</p> <p>5 すみだ健康づくり総合計画事業一覧</p> <p>6 事業と指標の関連について</p> <p>7 基本目標 改定案【修正版】</p> <p>8 ご意見・ご質問シート</p> <p>【参考】 すみだ健康づくり総合計画</p>
---------	---

会 議 概 要	<p>1 開会</p> <p>2 保健計画課長 挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 前回の振り返りと施策体系等の変更点 資料2～4に基づき事務局より説明 (参考資料1失業に関するデータについては小林委員より説明)</p> <p>(2) 基本目標 の施策と事業について 資料5、7に基づき事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> - 最期まで自分らしく暮らせる地域づくり - 精神障害にも対応した地域包括支援システムの構築 <p>【意見・質問等】</p> <p>山室委員：精神障害者地域生活支援協議会は今年度からか。</p> <p>事務局：正式に設置したのは令和元年度となる。</p> <p>山室委員：医師会もメンバーになっているのか。</p> <p>事務局：クボタクリニックの窪田先生と医療関係者としては、精神科病院のソーシャルワーカーが委員として入っている。</p> <p>山室委員：松田委員からは何かご意見はあるか。</p> <p>松田委員：多職種連携情報連携シートは歯科の現場で見たことないので、必要度がよく分からない。もう少し身近になると良い。</p> <p>山室委員：所管である會田委員に伺いたい。</p> <p>會田委員：シートができてから2～3年経過したが、コロナのこともあり、普及啓発が難しかった。今後の課題とさせていただきたい。</p> <p>松田委員：確かにコロナの影響は大きいと思う。介護関係者と連携が取れないので、存在として距離が離れた印象である。医療関係者と介護関係者のワクチン接種状況はどうなっているのか。</p> <p>杉崎委員：進んではいるが、希望者全員が速やかに接種できるわけではない。</p> <p>松田委員：ワクチン接種がうまく進み、会って連携できるようになると良い。</p>
---------	---

山室委員：紙ベースだけの連携ではなく、IT化しても良いのではないか。

松田委員：リモートだと声が聞き取りにくい。

山室委員：課題が多いのはたしか。紙ベースではない情報も共有していく必要はあると思う。医療と介護の連携でも検討していただきたい。

一瀬委員からも何かご意見はないか。

一瀬委員：保健センターでも、精神障害のある方に対して日常生活支援などを行っており、個別性も重視しつつ、サポートしているところである。また、先程話のあった地域生活支援協議会など、面的整備も進んできた。引き続き、家族へのサポートも行っていきたい。

- 障害のある人（子ども）の健康づくり支援

- 自殺対策の推進

【意見・質問等】

山室委員：ゲートキーパー研修については、薬剤師会でも実施したと聞いている。勝野委員からお話いただけないだろうか。

勝野委員：墨田区薬剤師会では、今まで2回ゲートキーパー研修を開催している。薬局でも精神科の薬を出す方がいる。大変ナイーブな対応が必要になるので、どう話の切り口を持っていけば良いか悩むことが多かった。そういう方にお話をするための引き出しを増やすためにも良かった。介護職の方なども受けても良いと思う。

事務局：気づきや受け止め、寄り添うことができるよう学んでいただく場となっている。

勝野委員：はじめは対象者の方との間には壁があるが、薬局には薬がなくなると月に1回程度は来てくれるので、その都度お話ができる。

事務局：色々なところで展開したいと考えている。

- すみだらしい食育の推進

【意見・質問等】

松田委員：「災害時食支援ネットワークの推進」について、担当として防災課の記載がないが、防災課とは連携していないのか。

杉崎委員：防災課には、「地域防災計画」という計画があり、これに基づき防災対策を行っている。しかし、防災課と連携する事業もあるので、関係がないわけではない。

山室委員：食育の担当である高橋委員から、何か意見等があればお願いしたい。

高橋委員：食育の計画も現在改定中。最終的には内容をすり合わせていく予定である。

- 地域・職域連携の推進

- 特殊疾病（難病）対策の推進

- 健康を支援するソーシャルキャピタルの醸成

【意見・質問等】

山室委員：地域・職域連携の推進について、小林委員にご意見を伺いたい。

小林委員：健康経営に関しては、区内事業所の経営者が自社の食堂を見直し、塩分などに考慮した健康に良い昼食を提供する等、社員の健康促進を図りたいという動きがある。ゆくゆくは区の健康づくり事業や高齢者雇用、がん検診の受診率向上の取組をしたいといった経営者もいる。最近では、社員を確保するためには食や健康に配慮した取組をしていく必要がある。そのため、墨田区版健康経営支援事業を実施する価値はあると感じている。

山室委員：「健康を支援するソーシャルキャピタルの醸成」について、松木委員のご意見を伺いたい。

松木委員：地区会館・地域プラザに関しては、コロナで貸し出し時間が減少している。しかし、何か行動するためには拠点が必要になる。そのため、町会会館等の新築や修理にも補助金を出しているし、新たにICT化(Wi-Fiの導入等)するための補助も行っている。

山室委員：栗林委員は保健衛生協力員として地域で活動されているが、地域の状況はいかがか。

栗林委員：昨年度はコロナの影響で会合等が全くできなかった。昨日、久々に集まる機会があったが、30分だけでも対面だと色々と耳に入ってくる。しかし、人と交流できないとどうしようもない。保健衛生協力員として何か役に立ちたいと思うが、保健センターの担当者とも役員の方とも電話でしかやり取りができないため、なかなか難しい。

山室委員：ワクチン接種が進んでいるので、改善していくのではないかと思う。

栗林委員：今日も話を聞いていて、町会では「ゲートキーパー」という言葉にピンとくる人がいないのでは、と感じた。どういう人なのか、何を相談すれば良いのか分からないと思う。どこにどう連絡をとったら良いのか、窓口などが分かるようにしてもらいたい。

山室委員：社会福祉協議会も地域に深く関わって活動をしているので、小古山委員にお話を伺いたい。

小古山委員：計画の中で小地域福利活動について取り上げていただいたが、この活動は高齢者だけが対象ではないので、「子どもから高齢者まで」といったように、表現の見直しをお願いしたい。訪問等の事業はコロナ禍で休止しているが、地域住民の方の中から、「コロナ禍で人と会えなくてもつながることができる方法」として、情報誌を作成するというアイデアも出ている。また、高齢者のワクチン接種申込みの手伝いなどを行っている委員もいる。

山室委員：他に何かご意見があれば伺いたい。

中山委員：地域健康づくりの部分は、高齢者だけが対象ではない。50歳以前の若年層の参画も考慮し、介護予防についても触れた方が良いのではないか。

(3)事業と指標の関連について

資料6に基づき、事務局より説明

【意見・質問等】

渋谷委員：今回このように事業と指標の関連について示していただき、非常に分かり

	<p>やすくなった。ただ、切り分けが難しいと思うところもある。アウトプットをアウトカムにしてしまっても良いのでは。特に、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築については、どちらかという支援がメインになっているので、1年以上入院している患者数をアウトカムにしてしまうと分かりづらいのではないかと。また、「健康を支援するソーシャルキャピタルの醸成」については、自殺の項目にある「悩みの相談相手がいる割合」も追加しても良いと思う。様々な分野が関連しているので、精査が必要である。</p> <p>山室委員：その他、ご意見はないだろうか。</p> <p>渋谷委員：難病の部分についても、障害者対策にあるように、就労支援について記載しても良いのではないかと。また、最近は、仕事と治療の両立支援の施策もあり、それについても当てはまるのではないかと。</p> <p>事務局：別の部会ではあるが、がん対策についても両立支援について触れている。難病にも当てはまると思う。</p> <p>(4) その他 事務局より区民ワークショップのご案内</p> <p>4 閉会 杉崎課長：今回の会議において、追加のご意見、ご質問などあれば、事務局までご連絡を賜りたい。皆様のご意見を踏まえて引き続き計画案の改定作業を進めていく。作業部会は本日で終了とさせていただきますが、引き続き改定作業についてはご協力を賜りたい。以上をもって令和3年度「すみだ健康づくり総合計画中間改定検討部会 第2回『地域共生・包括ケア部会』」を終了する。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">会議の概要は以上である。</p>
所 管 課	福祉保健部 保健衛生担当 保健計画課